

2018年度 アジア研究センター活動報告

2018年10月～2019年3月

講演会

●アジア研究センターの講演会

◆2018年11月8日(木)

テーマ：「北朝鮮経済のベールを剥ぐ」(Unveiling the North Korean Economy)
報告者：Byung-Yeon Kim氏(韓国、国立ソウル大学経済学部教授)

共同研究グループ主催による公開研究会

●研究グループ：「東アジアにおける安全保障秩序の変動」

◆2018年12月14日(金)(非公開)

テーマ：「冷戦後に本の東アジア安全保障秩序構想について」
報告者：古賀 慶(南洋工科大学助教授 シンガポール)

●研究グループ：「東アジアの国際経済・ビジネスの変遷と現状
そして今後の展望」

◆2018年11月21日(水)

テーマ：「ラオス経済の現状と課題」
報告者：魚住 和宏(神奈川大学アジア研究員、SCMソリューション
デザイン代表)

◆2019年1月30日(水)

テーマ1：「東京港の現状とオリンピックへの影響」
報告者1：石原 伸志(神奈川大学アジア研究員、神奈川大学経済学
部非常勤講師)

テーマ2：「邦船3社(Ocean Network Express)は
何故合併する必要があったのか」

報告者2：合田 浩之先生(東海大学海洋学部特任教授)

●研究グループ：「東アジアにおける東西文明の出会い或いは衝突」

◆2018年11月21日(水)

テーマ：「近世アジア交易と渡来染織品について」
報告者：阿部 克彦(経営学部国際経営学科准教授)

●研究グループ：「植民地国家と近代性：アジア諸国を中心とする
比較研究」

◆2018年11月24日(土)

テーマ：「従軍漫画家が描いた戦争と南方占領地」
報告者：松岡 昌和(立教大学アジア地域研究所特任研究員)

◆2019年3月22日(金)～3月23日(土)

「植民地国家と近代性」公開シンポジウム

テーマ1：「琉球併合と沖縄の近代」

報告者1：波平 恒男(琉球大学人文社会学部教授)

テーマ2：「帝国とナショナリズムの言説空間」

報告者2：永野 善子(所員 神奈川大学人間科学部教授)

テーマ3：「"Invisible Armies: Base Work and Transnational
Identities in Okinawa's Military Base"」

報告者3：ジョハンナ・ズルエタ(創価大学国際教養学部准教授)

テーマ4：総合討論

報告者4：梅崎 かほり(所員 神奈川大学外国語学部准教授)

●研究グループ：「アジア地域におけるサプライチェーンリスクマネジ
メントに関する研究」

◆2019年1月11日(金)

テーマ1：「ハラル・エデュケーショナル・ツーリズム：その潜在力と展望」
(Halal Edu Tourism: Potential and Prospects)

報告者1：Siti Hawa Radin Eksan
(神奈川大学アジア研究センター客員研究員
マレーシア、セランゴール国際イスラム大学(KUIS)
シャーリア・法学部 講師)

テーマ2：「ハラル・サプライチェーン：その独自性と複雑さ」
(Halal Supply Chain: The Uniqueness and Complexity)

報告者2：Mohd Helmi Ali
(神奈川大学アジア研究センター客員研究員
マレーシア、マレーシア国民大学(UKM) 経済・経営学部
シニア講師)

テーマ3：「フード・テクノロジーのハラル製品への活用」
(Correlating Food Technology and Halal products)

報告者3：Norhidayah Suleiman
(マレーシア、マレーシア・プトラ大学(UPM)
食品科学技術学部 シニア講師)

●研究グループ：「アジアの政治発展」

◆2019年2月1日(金)

テーマ：「ポピュリズムの概念史——その理論的課題」

報告者：吉田 徹(北海道大学法学部教授)

※所属・職名は2019年3月現在

